

1 指導概要

教科		科目		
地歴		地理総合	単位数：2単位	
指導目標：地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。				
メディア視聴	事情に応じて許可（東京書籍） ①視聴講座を100%視聴 ②確認テストクリア	60%	教科書	東京書籍「地理総合」
スクーリング	1 単位時間×2回	合格時間数2時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全6回	合格枚数6枚	副教材	なし
試験	あり	試験評価割合100%	評定	100点法5段階評定
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	私たちが暮らす世界 1 24時間、地球は眠らない。 2 小さな島が、大きな意味を持つのはなぜ？ 3 地図を使わない人は、ほとんどいない。 4 地図の可能性は、まだまだ広がる	第1回 4/30	第1回	地軸の傾きや自転・公転による影響を理解する。 また、世界各地における、太陽高度や昼夜の時間の季節変化と、標準時を確認し、経度や緯度との関係について考える。 世界地図の特徴を理解するため、地球儀上で方位や距離を計測し、様々な世界地図での描かれ方と比較していく。
2	5 国同士の貿易は、どう変化しているのか 人々の生活文化と多様な地理的環境 1 肉じゃがといえど？ 2 宗教に根差した習慣や文化がある	第2回 5/30		
3	3 山に住むには工夫が必要なのか。 4 流れる川が、地形を変えていく。 5 なぜこれほど違う？暑さ	第3回 6/30		山地における文化的・自然的なめぐみに気づき、その利用について理解する。 また、河川が作る平野の小地形について理解し、写真を使って理解する。 大気の大循環によって生じる気圧帯について理解する。
4	地球的課題と国際協力 1 大気と海に何が起きているのか。 2 森林減少と砂漠化、その原因を探る。 3 地球を「電池切れ」にさせない。	第4回 7/30	第2回	

5	4 人が増えたのはなぜ？ 5 高齢者が増えるとうなるの？ 6 人は何を求めて都市に向かうのか。 7 グローバルな課題を解きほぐす糸口とは。	第 5 回 8/30	18 世紀後半以降から現在にかけの世界の人口推移とその背景を理解する。 人口ピラミッドの作成や統計の読み取りを通じて、先進国の抱える人口問題とそれへの対策について考察する。 地球的課題の解決へ向けてのさまざまな国際的取り組みとその課題を整理する。 また、地震や津波の発生 頻度と その周 期性について考察し、大規模災害への対応について、自助・共助・公助の視点からどのようなことが行われているか理解する。
6	自然環境と防災 1 四季のある国の季節ごとの天候は 2 繰り返す地震を災害から学ぶ。 3 地域を災害から守るため。 4 地域のこれからを皆で考えていくために。	第6回 9/30 提出期限 (11/28)	

2 評価の観点

知識・技能	テストの結果で評価します。
思考・判断・表現	レポートの最終問題で評価します。
主体的に学習に取り組む態度	スクーリング時に取り組む姿勢や、成果物で判断します。 ※メディア視聴の成果もこの観点で評価します。

3 評価の方法

上記の観点に基づき、年度末に 5 段階で評定を出します。 【知識・技能】テスト結果 (7 割) 【思考・判断・表現】レポート最終問題(2 割) 【主体的な態度】スクーリングの時の成果物 (1 割)

4 担当者からのメッセージ

スクーリングへの出席 (取り組む姿勢)、レポートの提出 (レポートの内容)、試験結果を総合的に判断し、評価します。 面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく、説明のスピードも速くなります。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。また、NHK 高校講座「地理総合」の視聴も役立ちます。
